

【学校(小学校・中学校)】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	門真小学校	門真市柳町635番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎2				Is/Iso=1.11、Ctu・SD=0.87	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎36				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.77	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎37				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.45	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎38				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.60	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
2	大和田小学校	門真市大橋町70番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1-1,1-2				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.79	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎17-1.17-2				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.77	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎19				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.81	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
3	二島小学校	門真市三ツ島1丁目1551	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎2-1,2-2				Is/Iso=1.04、Ctu・SD=0.57	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎15				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.52	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎25				Is/Iso=1.07、Ctu・SD=0.30	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
4	四宮小学校	門真市四宮2丁目421番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1				Is/Iso=1.15、Ctu・SD=0.84	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎2				Is/Iso=1.1、Ctu・SD=0.80	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎29				Is/Iso=1.1、Ctu・SD=0.84	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎30				Is/Iso=1.14、Ctu・SD=0.84	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎55				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.45	耐震改修済		Iso値=0.7として診断

【学校(小学校・中学校)】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
5	古川橋小学校	門真市御堂町50番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1				Is/Iso=1.07、Ctu・SD=0.81	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎10-1,10-2				Is/Iso=1.07、Ctu・SD=0.81	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎11				Is/Iso=1.04、Ctu・SD=0.79	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎12				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.63	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎14				Is/Iso=1.08、Ctu・SD=0.56	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
6	沖小学校	門真市沖町891番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.74	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎20-1,20-2				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.73	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
7	上野口小学校	門真市上野口町419番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎11				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.75	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎20-1,20-2				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.77	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎21				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.46			Iso値=0.7として診断
	校舎22				Is/Iso=1.17、Ctu・SD=0.87	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
8	速見小学校	門真市速見町333番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)				
	校舎8				Is/Iso=1.12、Ctu・SD=0.43	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎23-1,23-2,23-3				Is/Iso=1.07、Ctu・SD=0.60	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎24				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.47	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎25				Is/Iso=1.44、Ctu・SD=0.44	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎27				Is/Iso=1.22、Ctu・SD=0.48			Iso値=0.7として診断

【学校(小学校・中学校)】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
9	脇田小学校	門真市脇田町582番1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎7,14				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.77	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎16-1,16-2				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.71	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
10	北巢本小学校	門真市北巢本町88番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1				Is/Iso=1.04、Ctu・SD=0.75	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎9				Is/Iso=1.04、Ctu・SD=0.70	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎10				Is/Iso=2.48、Ctu・SD=0.49	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
11	五月田小学校	門真市大字北島600番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1-1,1-2				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.33	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎12				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.32	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
12	砂子小学校	門真市三ツ島6丁目1097番	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)				
	校舎1				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.75	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎12				Is/Iso=1.15、Ctu・SD=0.71	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎13				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.73	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
13	みらい小学校	門真市浜町146番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1-1,1-2				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.74	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎17-1,17-2				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.33	耐震改修済		Iso値=0.7として診断

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_t \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_t \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_t \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_D$

- I. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

記号の解説(構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性)

記号	記号の名称	記号の解説
I_s	構造耐震指標	構造体の耐震性能を表す指標
I_{s0}	構造耐震判定指標	想定した地震動レベルに対して建物が所要の耐震性能を安全であるために必要とされる構造耐震指標値
C_t	累積強度指標	層の変形角(靱性指標)に対応して部材が発揮する強度指標の累積値に外力分布による補正係数を乗じたもの
S_D	形状指標	建物の平面、立面形状または剛性の平面、立面分布を考慮して保有性能基本指標を修正する指標
C_{tu}	終局時累積強度指標	構造物(層)の終局限界における累積強度指標値
Z	地域指標	地震活動度や地震動強さを考慮するための耐震判定基本指標の補正係数
G	地盤指標	地盤、地形、地盤と建物の相互作用を考慮するための耐震判定基本指標の補正係数
U	用途指標	建物の用途を考慮するための耐震判定基本指標の補正係数

【学校(小学校・中学校)】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	第二中学校	門真市沖町504番2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.79	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎19				Is/Iso=1.11、Ctu・SD=0.86	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎23				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.78	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎24				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.79	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
2	第三中学校	門真市柳町757番	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎1-1,1-2				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.76	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎2				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.75			Iso値=0.7として診断
	校舎3-1,3-2				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.75	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎22				Is/Iso=1.08、Ctu・SD=0.82	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
3	第四中学校	門真市江端町602番1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)				
	校舎10				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.51	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎17-1,17-2,17-3				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.32	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎23				Is/Iso=1.00、Ctu・SD=0.57	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎27-1,27-2				Is/Iso=1.05、Ctu・SD=0.31	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
4	第五中学校	門真市北岸和田3丁目275番3	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎2-1,2-2				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.74	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎15				Is/Iso=1.07、Ctu・SD=0.45	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
5	第七中学校	門真市北島町388番1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)				
	校舎8-1,8-2				Is/Iso=1.02、Ctu・SD=0.51	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎20				Is/Iso=1.01、Ctu・SD=0.79	耐震改修済		Iso値=0.7として診断
	校舎23-1,23-2				Is/Iso=1.07、Ctu・SD=0.64	耐震改修済		Iso値=0.7として診断

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_t \cdot S_D < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \leq C_t \cdot S_D \leq 1.25$
			$1.25 < C_t \cdot S_D$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} < 0.5$ 又は $C_{tu} \cdot S_D < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 \leq I_s/I_{s0}$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U \leq C_{tu} \cdot S_D$

- I. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
 いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

記号の解説(構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性)

記号	記号の名称	記号の解説
I_s	構造耐震指標	構造体の耐震性能を表す指標
I_{s0}	構造耐震判定指標	想定した地震動レベルに対して建物が所要の耐震性能を安全であるために必要とされる構造耐震指標値
C_t	累積強度指標	層の変形角(靱性指標)に対応して部材が発揮する強度指標の累積値に外力分布による補正係数を乗じたもの
S_D	形状指標	建物の平面、立面形状または剛性の平面、立面分布を考慮して保有性能基本指標を修正する指標
C_{tu}	終局時累積強度指標	構造物(層)の終局限界における累積強度指標値
Z	地域指標	地震活動度や地震動強さを考慮するための耐震判定基本指標の補正係数
G	地盤指標	地盤、地形、地盤と建物の相互作用を考慮するための耐震判定基本指標の補正係数
U	用途指標	建物の用途を考慮するための耐震判定基本指標の補正係数

【百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	門真プラザの一部 (備考配置図参照)	門真市新橋町433番地の1他	店舗	建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s=0.201$ 、 $q=0.550$	-	-	市営住宅部あり 【配置図】

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

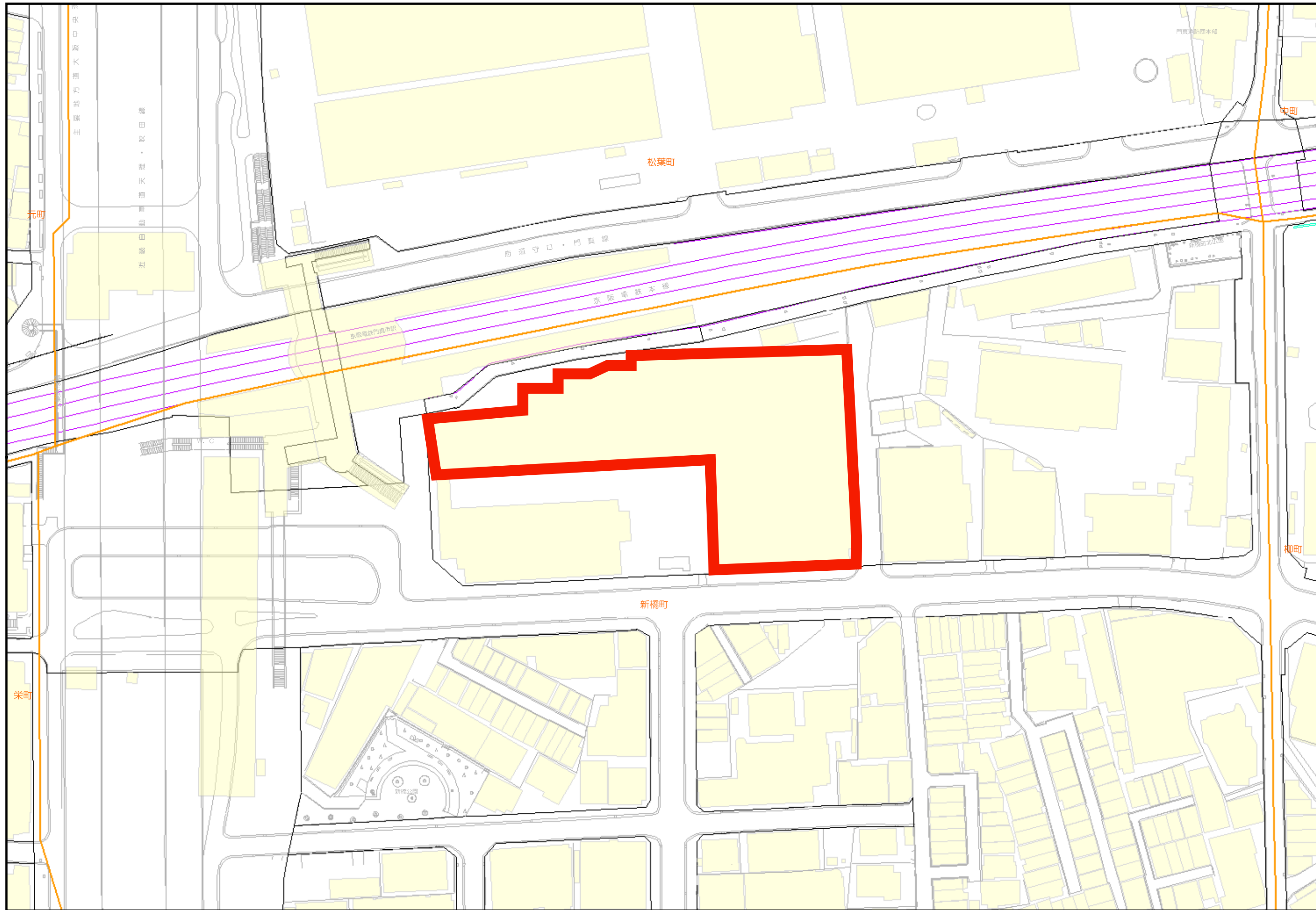
耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項第1第二号に定める建築物の耐震診断の方法	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$

- I. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

記号の解説 (構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性)

記号	記号の名称	記号の解説
I_s	構造耐震指標	構造体の耐震性能を表す指標
q	保有水平耐力に係る指標	必要保有水平耐力に対する保有水平耐力の比



【危険物の貯蔵場等の用途に供する建築物】

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	株式会社天辻鋼球製作所 1～5工場	門真市上野口町280番1	工場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s=0.19$ 、 $q=0.76$	耐震改修済	令和3年度	

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法の名称	構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性		
	I	II	III
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 \leq I_s$ かつ $1.0 \leq q$

- I. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- II. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- III. 大規模の地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

(※)震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。
いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

記号の解説 (構造耐力上必要な部分の地震に対する安全性)

記号	記号の名称	記号の解説
I_s	構造耐震指標	構造体の耐震性能を表す指標
q	保有水平耐力に係る指標	必要保有水平耐力に対する保有水平耐力の比